



# みかんぐみだより



## 2月

2020年2月3日

尚徳福祉会 おぐら保育園

みかんぐみ

毎日の寒さの中、初めての雪を見たり、澄み切った青空に飛ぶ飛行機に手を振ったり、元気に園庭を走り回る子どもたち。

最近、縄跳びの縄の片方を手に持ち、引いて歩くのがブームのようです。園庭を歩いているうちに、後ろの縄がタイヤに引っかかったり、誰かに踏まれたり…。時々振り返っては、「ここは通れるかな?」と確認しながら、まるで犬を散歩させているかのように、園庭を歩く姿を目にします。あちこち歩きながら、ちゃん色々と考えている子どもたちの「発見や考え」がわかることはとても楽しいです。

### 身体を使いたい!

子どもたちは今、「登りたい」「押したい」「やってみたい」の気持ちがいっぱいです。園庭に出ると、タイヤの山に足をかけてフェンスを掴みながら登る子。また、砂場の道具が入っているスーパーの籠を押しながら園庭にいっぱい線路を描く子。これは室内ではマルチパーツの重い椅子を車のつもりで押しているのと重なります。そしてこれまで幼児がポックリをしているのを見ていた子どもたち…

「自分も」とチャレンジが始まりました。手と足を同時に挙げて進ませるポックリは難しいのですが、すぐに乗ってしまう子もいて驚かされます。

手も腕も、足も自分で自由に動かせるようになって、身体を使って楽しんでいるようです。

### 「おまけのおまけのきしゃぽっぽ」

子どもたちの大好きな絵本に「ノントンのぶらんこのせて」があります。

ぶらんこを一人楽しんでいるノントンですが、次から次にくる友だちに「のせて」と言われても代わってあげられません。次第にみんなの顔は怖い顔に…

結局みんなで10まで数えたら交代するということになり、「1, 2, 3…10 おまけのおまけのきしゃポッポ、ポーとなったらかわりましょ。ポッポーのポ!」と言って順番を代わります。

保育室や、園庭でも遊具や場所の取り合いで互いに譲ると言うことが難しい年齢です。でも、最近はこの「10まで数えて順番ね。」がまだやりたい子の気持ちも認められるので、後の交代がスムーズに行くことが多くなりました。お家でも「おまけのおまけの…」の魔法の言葉、ぜひ使ってみてください。

### みんなの新幹線

電車の写真絵本はいつも男の子を中心に取り合いになるほどの人気、新幹線の玩具も大人気です。ずっと新幹線が大好きなのはA君、最近では洋服も新幹線柄が多く、お気に入りです。新しいトレーナーを着て保育士に見せてくるとやってきたのはB君、お腹を出してきたかと思えば、肌着の柄が新幹線柄で話を聞きつけて見せに来たようです。「Cちゃんの新幹線!」と新幹線のぞみを指さして、お休み中に家族で乗った話をしてくれる子。負けじと「Dちゃんの新幹線!!」と参加してくる子もいます。Dちゃんも新幹線に憧れているようです。

みんなが大好きな新幹線。いつかみんな乗れるといいね。

